



◆ News Release ◆

報道関係各位

株式会社阪急交通社

阪急交通社グループ(平成27年度)決算について

阪急交通社グループ平成27年度(平成27年4月1日から平成28年3月31日まで)の決算について、下記のとおりお知らせいたします。

記		(単位:百万円)
\	営業収益	営業利益
平成27年度 (平成28年3月期)	30,502 (95.4%)	680 (55.4%)
平成26年度 (平成27年3月期)	31,965	1,227

* 阪急交通社グループ会社3社 (株式会社 阪急交通社、株式会社 阪急阪神ビジネストラベル、株式会社 阪急トラベルサポート)の合計数値

●海外旅行

北米、オセアニア方面の集客が順調に推移し、中国が復調となった一方で、円安や国際情勢悪化による厳しい事業環境が続く中、11月にパリで発生したテロ事件の影響もあり、ヨーロッパ方面の集客が減少しました。一方、法人業務渡航部門については、好調な企業業績の影響を受け好調に推移しました。

●国内旅行

国内旅行の需要が高まり、北陸新幹線の開業が話題となった北信越方面等の集客が好調であったほか、収益性の高い北海道や地方創生交付金を活用した商品が好評を博しました。

●訪日旅行

インバウンド需要の拡大が継続する中で、積極的な営業活動を展開したことにより、大型団体を受注するなど取扱いを伸ばしました。

【今後の見通し】

海外旅行では、ヨーロッパ方面は国際情勢悪化の影響が当面続くと想定されますが、添乗員付きツアーのヨーロッパ以外の方面の拡充や、積極的な個人旅行への取組みを図ります。国内旅行では、熊本地震の影響はあるものの、北海道新幹線やお遍路(逆打ち)などの旅行素材を活かしたツアーの強化や、地域や行政との連携を進めることにより、概ね堅調に推移すると思われま。

訪日旅行については、ヨーロッパではフランクフルトを基点として営業活動を強化するなど、引き続き積極的に取り組んでまいります。

平成27年度取扱額

(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

【旅行事業】

●取扱額

(単位:百万円)

会社名	年度	海外旅行	国内旅行	外国人旅行	総取扱額
阪急交通社	平成27年度	162,588	130,606	2,169	295,364
	平成26年度	197,689	133,511	1,339	332,539
	対前年度比(%)	82.2%	97.8%	162.0%	88.8%
阪急阪神ビジネストラベル	平成27年度	40,369	3,273	0	43,642
	平成26年度	37,006	3,322	0	40,327
	対前年度比(%)	109.1%	98.5%	—	108.2%
阪神トラベル・インターナショナル	平成27年度	4,080	272	0	4,351
	平成26年度	4,445	317	0	4,762
	対前年度比(%)	91.8%	85.8%	—	91.4%

(単位:百万円)

会社名	年度	海外旅行	国内旅行	外国人旅行	総取扱額
グループ3社 合計取扱額	平成27年度	201,127	132,534	2,169	335,830
	平成26年度	232,690	135,447	1,339	369,475
	対前年度比(%)	86.4%	97.8%	162.0%	90.9%

*グループ3社(株式会社阪急交通社、株式会社阪急阪神ビジネストラベル、阪神トラベル・インターナショナル株式会社)

*グループ内取引を相殺したものです。

*総取扱額にはその他を含みます。

<本件に関するお問い合わせ先>

株式会社阪急交通社 広報部

〒105-0004 東京都港区新橋 3-3-9 TEL:03-6745-7333/FAX:03-6745-7351

〒530-0001 大阪市北区梅田 2-5-25 TEL:06-4795-5711/FAX:06-4795-5724